

# 化粧ファッション学の研究を リードする充実した教授陣

## 【化粧ファッション学専攻 研究指導教員の紹介】



### ■ファッション学分野



#### 小林 政司 教授

大阪市立大学大学院生活科学研究科を修了。学術博士。光華女子短期大学助教授などを経て現職。専門は被服整理学(洗浄・加工)、染色学、色彩学。被服学分野における数少ない男性研究者の一人としてテクスチャに関わる研究を続ける。繊維、色彩関連の学協会の役員として学界と業界の連携促進に努めている。

#### ■担当科目

人間科学研究方法論、化粧ファッション学特殊研究1(化粧ファッション学原論)、化粧ファッション学特殊研究2(化粧ファッション学の現在)、ファッションと科学演習2、ファッション学方法論2

### ■ファッション学分野



#### 杉田 慶子 教授

ファッション学分野のおもに衣服構成学の研究領域に関心をもつ学生の論文指導を行う。衣服のデザインや製作技術といったモノづくりの側面だけでなく、生活・文化等と関連付けながら指導する。歴史的衣服の保存修復元もテーマの一つである。

#### ■担当科目

人間科学研究方法論、化粧ファッション学特殊研究1(化粧ファッション学原論)、化粧ファッション学特殊研究2(化粧ファッション学の現在)、ファッションと技術演習、ファッション特論、ファッション学方法論3

### ■化粧デザイン学分野



#### 岩永 哲郎 教授

大手化粧品会社を経て、2023年4月より現職。博士(工学)。専門は化粧品科学、コロイド、界面化学。界面活性剤の溶液物性、そして、界面活性剤の機能を利用した化粧品製剤化技術に関する研究を主に行なっている。

#### ■担当科目

化粧ファッション学特殊研究1(化粧ファッション学原論)、化粧ファッション学特殊研究2(化粧ファッション学の現在)、化粧デザインと科学演習1、化粧デザイン学方法論1

### ■化粧デザイン学分野



#### 高田 定樹 教授

大手化粧品会社を経て、2013年4月から本学教授。博士(学術)。日本における化粧品科学・化粧品開発の代表的な研究者のひとりで各種学会賞を受賞、多数の特許をもつ。専門は化粧品科学・化粧品開発、化粧の生理・心理効果、化粧のマーケティング、ソーシャルビューティケアなど。

#### ■担当科目

人間科学研究方法論、化粧ファッション学特殊研究1(化粧ファッション学原論)、化粧ファッション学特殊研究2(化粧ファッション学の現在)、化粧デザインと科学演習1、化粧デザインと科学演習2、化粧学デザイン学方法論1

### ■化粧デザイン学分野



#### 松下 戦具 准教授

学位取得後、York University Centre for Vision Researchや立命館R-GIROでの研究員、大阪大学人間科学研究科助教などを経て2017年4月より現職。博士(人間科学)。専門は心理学。顔や化粧の知覚・認知、ファッションとパーソナリティとの関連や、整形手術に対する態度などを幅広く研究。

#### ■担当科目

人間科学研究方法論、化粧ファッション学特殊研究1(化粧ファッション学原論)、化粧ファッション学特殊研究2(化粧ファッション学の現在)、身体表象と福祉演習、化粧セラピー特論、化粧デザイン学方法論3

### ■身体表象学分野



#### 川野 佐江子 教授

丸善株式会社、財団法人計量計画研究所を経て、本学化粧ファッション学科教授。博士(比較文学)。専門は身体論、身体表象論。スーツ、プロレス、相撲など男性身体の研究に卓越。特に、近代社会において男性身体の様相がどのように消費されてきたのかについての研究を深め、NHKアーカイブス学術利用研究などでも活躍。

#### ■担当科目

人間科学研究方法論、化粧ファッション学特殊研究1(化粧ファッション学原論)、化粧ファッション学特殊研究2(化粧ファッション学の現在)、身体表象と社会演習、身体表象学方法論1

### ■身体表象学分野



#### 森 優子 教授

筑波大学大学院芸術学研究科修了。博士(デザイン学)。東京家政学院筑波女子大学講師などを経て現職。専門はビジュアルコミュニケーションデザイン。ファッションや化粧などのデザインや表象に関する生活、産業、環境と芸術・デザインの関わりについて、実践活動も取り入れた指導を行う。

#### ■担当科目

化粧ファッション学特殊研究1(化粧ファッション学原論)、化粧ファッション学特殊研究2(化粧ファッション学の現在)、デジタルデザイン特論、身体表象学方法論1